

日米書道協会天空



2025



AMERICAN JAPANESE CALLIGRAPHY SOCIETY SORA



巻頭言

朝晩の空気に少しずつ秋の気配が感じられる季節となりました。

皆さま、いかがお過ごしでしょうか。昼間はまだ夏の名残を感じる暑さが続きますが、朝夕との気温差で体調を崩しやすい時期でもあります。どうぞ体を冷やしすぎず、ご自愛ください。

秋は、心を落ち着けて物事に向き合うのにぴったりの季節です。書道もまた、その時間の中で呼吸を整え、自分と向き合うことのできる大切なひとときとなります。

今月の課題には、秋の情景を感じられる言葉や、日々を前向きに過ごすための一言を選びました。文字の形やバランスを意識するだけでなく、一画一画に気持ちを込めて書くことで、作品に深みが生まれます。

新しい季節の始まりに、静かに筆をとる時間を生活の中に取り入れ、心の落ち着きを感じていただければ嬉しいです。

今月も皆さんの丁寧な取り組みと、書を楽しむ気持ちを大切にしていきたいと思います。

日米書道協会 天空



月到天心
（つきてんしんにいたる）
月が空の中心に上がった頃、自然はその美しい姿を見せる。

月到天心



書き方ビデオ

↓ DOWNLOAD

WRITING INSTRUCTIONS

松林水聲涼

松林水聲涼（しょうちくすいせいりょう）

青々とした松に翠（緑）の竹、流れる水の音（ね）がひとときわ涼しい。



書き方ビデオ

↓ DOWNLOAD

WRITING INSTRUCTIONS

松林水聲涼

松林水聲涼（しょうちくすいせいりょう）

青々とした松に翠（緑）の竹、流れる水の音（ね）がひとときわ涼しい。



書き方ビデオ



DOWNLOAD

WRITING INSTRUCTIONS

叢書規定（一般）

茜雲先生書

松林水聲涼

松林水聲涼（しょうちくすいせいりょう）

青々とした松に翠（緑）の竹、流れる水の音（ね）がひとときわ涼しい。



書き方ビデオ

↓ DOWNLOAD

WRITING INSTRUCTIONS

隷書規定（段位）

茜雲先生書

松林水聲涼

松林水聲涼（しょうちくすいせいりょう）

青々とした松に翠（緑）の竹、流れる水の音（ね）がひとときわ涼しい。



書き方ビデオ

↓ DOWNLOAD

WRITING INSTRUCTIONS

ひらがな

茜雲先生書

ねな
ねに

• 全体の形を整える：ひらがなは丸みがありますが、均等なバランスを意識すると美しくなります。

↓ DOWNLOAD

いろは

茜雲先生書

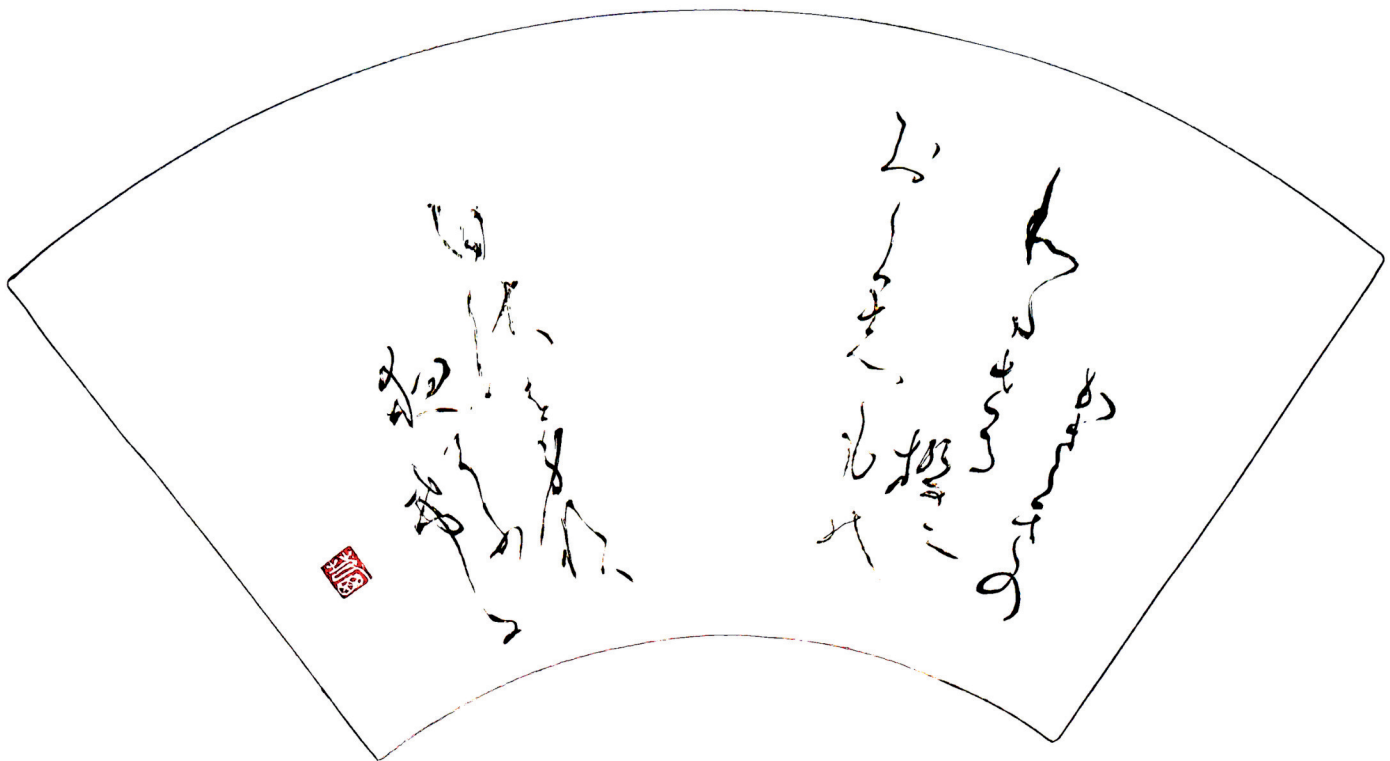
粗
修
書
進
取
法

年
る
の
雁
年
暮

月
升
れ
る
松
丸

↓ DOWNLOAD

WRITING INSTRUCTIONS



かささぎの渡せる橋に置く霜の白きを見れば夜ぞふけにける

中納言家持（大伴家持 おおとものやかもち）

意味：七夕の伝説で、かささぎが天の川に橋をかけて彦星と織姫を会わせるように、宮中の階段に降りた霜の白さを見ると、夜が更けたなあ

↓ DOWNLOAD

WRITING INSTRUCTIONS



書き方ビデオ

うきよのうた
うきよのうた
うきよのうた
うきよのうた

高野切第一種紀貫之筆「ふるきやまとまひのうた」

「葛城山に霜が降り、雪も降る」という自然の情景を詠みつつ、その降り続く雪のように、自分の恋心も絶えず常に湧いてくるという感情を重ねています。

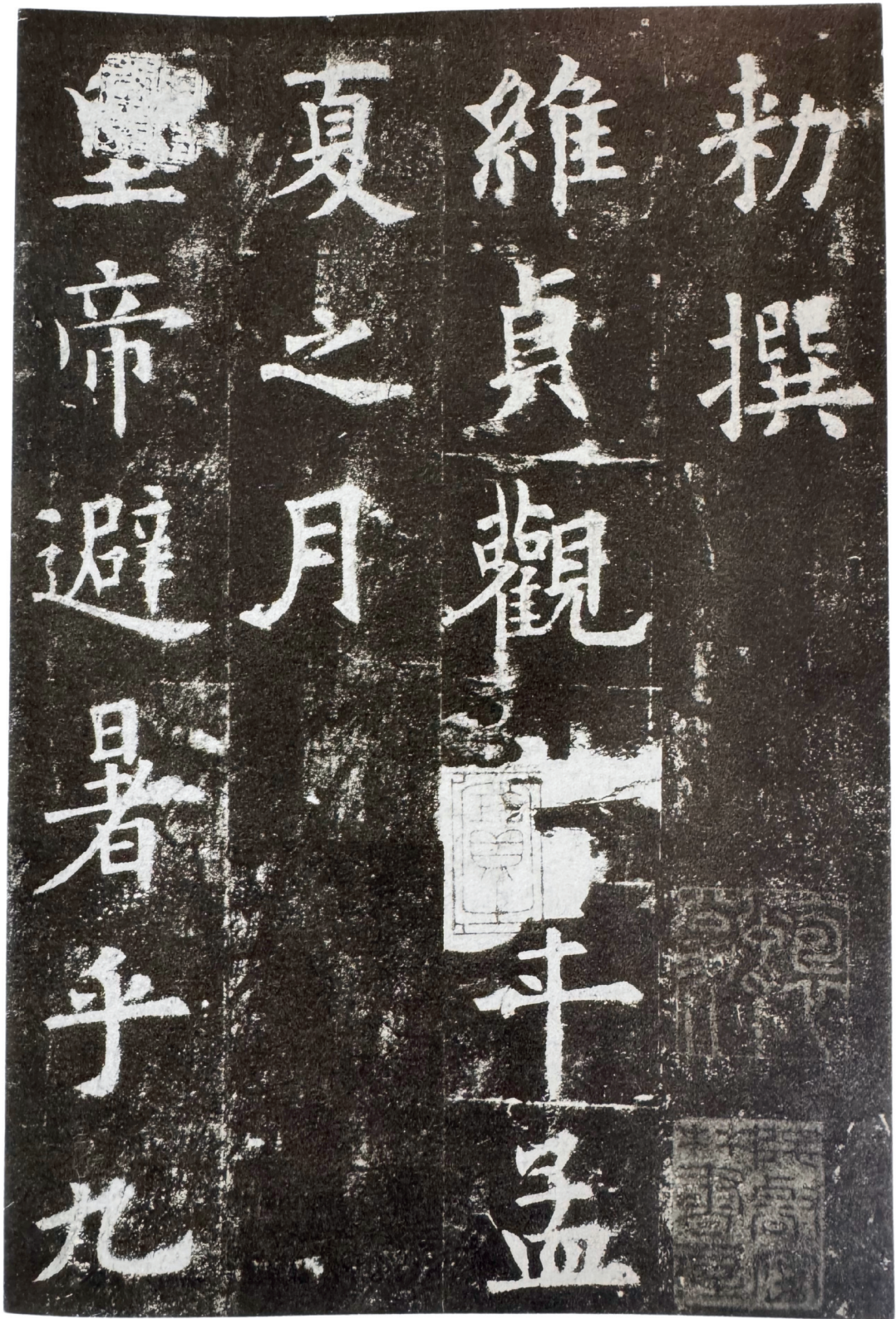
文脈での意味（歌の解釈）：

- しもといふ：「霜という」。枕詞的に用いられている。「霜」と「ふる（降る）」にかかる。
- かずらきやま（葛城山）：奈良県の山で、和歌にしばしば詠まれる名所。
- まなく：「間無く」＝絶え間なく
- ときなく：「時無く」＝いつでも、常に
- 思ほゆるかな：自然と（しみじみと）思われるなあ。詠嘆の「かな」。
- をれなみ「折れ波」＝砕ける波。波が折れて岸に打ち寄せる様子。砕ける波のように感情が揺れ動くことの比喩。

↓ DOWNLOAD

WRITING INSTRUCTIONS

九成宮醴泉銘



勅撰 維貞觀六年孟夏之月，皇帝避暑乎九

魏徵は勅命を奉じて編纂した。

これは、貞觀の年の孟夏の月、皇帝が九成宮において暑さを避けておられた時のことである。

之月白皇
帝避暑

Contact

Web. www.ajcssora.com

Social Media: @japanesecalligraphysora

